

# 特集 サクラエビ 異変

## 雨畑地区住民意識調査結果

(数字は回答総数に対する%。小数点第2位は四捨五入。)  
カッコ内は人数。2019年7月2、3日調査

質問1 堆砂が進んでいる雨畑ダムがもたらす水害の可能性についてどう思いますか。その理由も教えてください。

- ①非常に不安 60.0(21)  
(主な回答を抜粋。以下同じ)  
・周辺は一本道なので、集落につながる橋が洪水で通れなくなったら地元は孤立する  
・ヘリポートを備える公共施設まで行けば、物資を受け取れるかも知れないが、それができなくなる  
・自宅は比較的高い場所だが、大雨の際は裏山が崩れてくる危険性がある。川の増水と狭み撃ちになったら、逃げ場がない  
・ダムの堆砂は進んでいて、今度、昨秋と同じ台風が来たら地元の茶工場がダメになるだろう  
・前の台風で床上浸水した住民がいた  
・集落につながる橋が埋まると孤立する。雨が降るごとに土砂がたまるのが不安。つり橋ももう埋まりそう  
・ダムを撤去するのが一番だが果たしてできるのか。雨畑川上流の砂防も不安  
・文句は言いたい。私は女性で1人暮らし。1人で反対しても仕方ない。我慢している
- ②不安 34.3(12)  
・大雨が1~2日降り続くと川に近い茶工場は大変なことになる  
・孤立の危険があるので土地が高くて不安
- ③あまり不安を感じていない 0(0)
- ④不安を感じない 0(0)
- ⑤その他・分からない 5.7(2)

質問2 今後雨畑ダムの堆砂状況をどうすべきだと思いますか?その理由も教えてください。(複数回答可)

- ①管理者の日本軽金属に堆砂の除去をせよ 39.5(15)  
・全責任は管理者の日軽金にある。この地域は高齢者ばかりで、何もできない。我慢することしかできない  
・ダムができる前からここに住んでいたが、こんなに早くたまるとは思わなかった。ダムによっていいこともあったと思うが、結果的にこうなってしまった  
・責任の押しつけ合いになっている。少しずつでも改善していかないと大変だ(①②両方選択した人の意見)  
・日軽金だけでは無理。国や県にも責任がある(同)
- ②国や山梨県、早川町に除去をせよ 18.4(7)  
・山梨県の責任が大きいと思う  
・国策でなければできなかったダム。日軽金だけでは追いつかず、土砂は取れない
- ③その他の方法で除去せよ 2.6(1)  
・日軽金と自治体が協力して
- ④現状のままでいい 0(0)
- ⑤その他・分からない 39.5(15)  
・日軽金や国、県、町が協力すべき。日軽金に100%責任があるわけではない。誰でもいいので早くやってほしい  
・擁壁を作って、町道のかさ上げをすべき。景観は悪くなるが、少なくとも5~10年はもつ。金の出所は官民でもいいので検討してほしい。生存権を守ってほしい  
・ダムを壊しても河床を下げるべき

質問3 2011年9月の台風、2018年秋の台風24号ではどのような被害がありましたか?

- ①家屋への浸水被害 0(0)
- ②自宅外への避難 2.9(1)
- ③けが 0(0)
- ④特になし 77.1(27)
- ⑤その他・分からない 20.0(7)

質問4 雨畑ダムが完成した1967年前後のことについて知っている方のみにお聞きします。質問A「あなたは地権者でしたか?」、また、質問B「なぜ地域としてダムを受け入れようと思いましたが?」、質問C「今ダムの建設についてどう思っていますか?」。以上の三つの質問にお答え下さい。(回答2人)

- A①はい 33.3(7)

- ②いいえ 66.7(14)
- B・当時の集落の偉い人たちが「ダムを受け入れれば観光地になる」と、大きな反対もなかった。そのダムがこんな状態になるとは夢にも思わなかった。造ったときは水深も深く、ボートを浮かべていた。地域が良くなったと思っただけで数年で埋まり始め、ボートも禁止になったと記憶している  
・ダムは幼い頃の楽しい思い出の場所であり、地域を育んだ風景。生まれたときからダムがあって水が十分にあったころは、夏の湖上祭では花火が水面に映ってきれいだった。それが今ではダムとしてほとんど機能していない。たまった泥の上に草が生い茂っているのを見ると、随分時間がたってしまったなと思う  
・「ダムができればお道が広がる。いいことじゃないか」ということで、何回も公民館で話し合いがあった。自動車を持っていく人も少なかったが、それまで狭かった道が広がる期待があった  
・お金がほしいと思った人がいた  
・ダムの雇用もあつた  
・国策に近い形が入ってきた
- C①後悔している 48.0(12)  
・孤立を心配している。「洪水の心配を相談しても行政に相手にされていない」と感じている
- ②どちらかという後悔している 12.0(3)  
・災害を危くしている
- ③どちらかという後悔していない 8.0(2)  
・花火大会などで金銭面から協力してくれている。橋も架けてくれた
- ④後悔していない 0(0)
- ⑤その他・分からない 32.0(8)
- ⑥無回答 0(0)

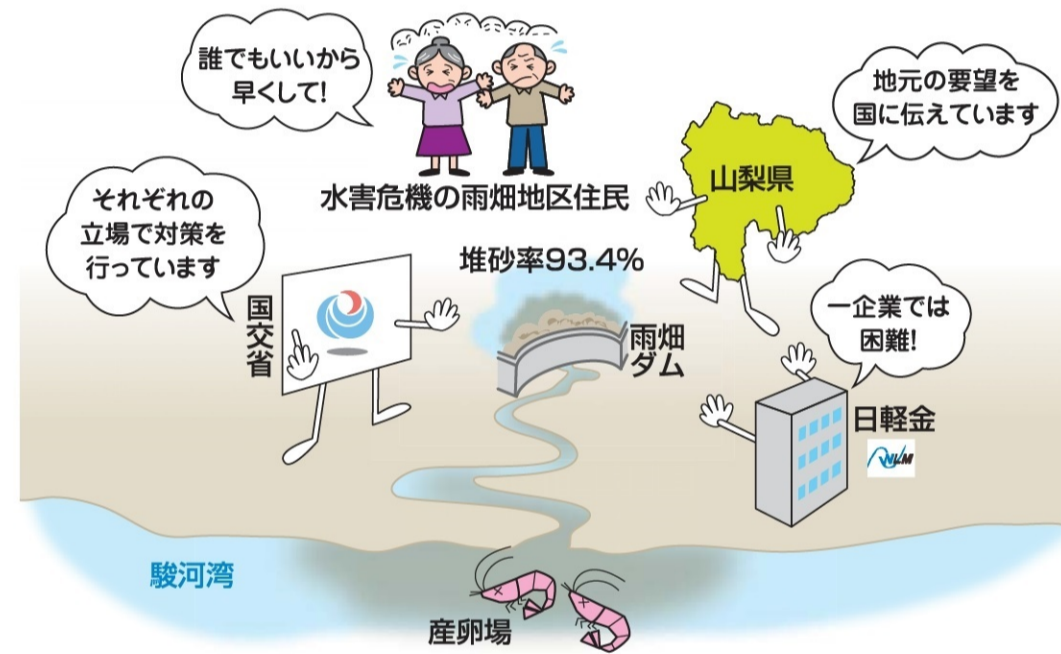
- ・「しょうがないな」と思った。反対しても来ると思った
- 質問5 駿河湾ではサクラエビが深刻な不漁に陥っていて、静岡・山梨両県は早川水系の濁りの実態調査を進めています。雨畑ダムの濁りが導水管などを経て駿河湾に注がれ、サクラエビの不漁につながっていると一部でみられていることについてどう思いますか?その理由も教えてください。
- ①非常にそう思う 5.7(2)

- ②そう思う 25.7(9)  
・濁りが強いから  
・ダムのヘドロが流れるから
- ③あまりそう思わない 31.4(11)  
・リニアの工事や採石場などダム以外の濁りの原因もある  
・雨畑の水だけが導水管で海に流れ込んでいるわけではないから  
・長い年月濁りは出ていた。今の不漁に関係あるかは不明
- ④そう思わない 8.6(3)  
・ダムができたのは40年前。濁りは濁りで、工場があるわけではない。今になって騒ぐのはおかしい。富士川本流沿いにも工場はある  
・温暖化や乱獲の影響ではないか
- ⑤その他・分からない 28.6(10)

質問項目以外で聞いた意見など

・現在のダムの状況については不安を感じるが、ダムを受け入れたこと自体は後悔まではしていない。わが家は直接浸水などの被害がないが、ダムで一時期、地域に活気が出たことは確かだし、当時としては、それはそれでしかるべき判断だった。のんびりしていい土地だが、よく考えれば危険な場所に住んでいると思う。  
・雨畑川は以前から不法投棄をしに来る人がいる。何を積んでいるか見えないが、こんな夜に上流に何をしに行くのだろうかと思うようなトラックが道を通ることがある。ヘドロやごみに混じって洗濯機が上流からダムまで流れてきたこともあった。水が汚くなっているのは確かだし、早川、富士川の濁りとも関係がないとは言えない。大雨で土砂災害になったら地元地区はもちろん、下流はもっと大変なことになる。

回答者の内訳		
【性別】		
男	45.7(16)	
女	51.4(18)	
無回答	2.9(1)	
【年齢】		
80代	51.4(18)	
70代	11.4(4)	
60代	11.4(4)	
50代	14.3(5)	
40代	2.9(1)	
【職業】		
無職	62.9(22)	
会社員	8.6(3)	
農業	8.6(3)	
パート	5.7(2)	
小売業	5.7(2)	
サービス業	2.9(1)	
団体職員	2.9(1)	
無回答	2.9(1)	



### 雨畑地区住民意識調査結果を受けた日本軽金属、山梨県、国土交通省富士川砂防事務所への質問と回答

質問	日本軽金属の回答	山梨県の回答	国土交通省富士川砂防事務所の回答
今後、雨畑地区の水害対策をどのようなプロセスで行う準備がありますか	土砂の堆積は雨畑地区の水害・安全対策のためにも、非常に重要な問題と考えている。弊社としては、近隣の皆さまの人命および財産に関わるような災害を未然に防止すべく、流入してくる土砂の除去やダム湖内移動、雨畑バイパス道路の流入防止壁の設置協力などを実施しているが、一企業の対応だけでは難しい状況になりつつある。今後も、国・県・早川町の協力を得ながら、上流域河川内の河道の確保を最優先で進める。加えて、中流域の土砂掘削を行い、河床をできるだけ下げること考えている。	雨畑ダムの堆砂は、県だけではなく関係機関が連携し、抜本的な対策を講じることが必要であると認識しているが、当面の措置として、県では、水害対策として2018年度、「危機管理型水位計」を設置した。住民の早期避難を促し安全を確保するものだ。早川町と協力して住民への周知を進めている。	関係者間で情報を共有し、それぞれの立場で対策を行っている。
雨畑ダムよりも上流の雨畑川には砂防えん堤が複数あり、特に国が設置した「稲又第三砂防えん堤」(2002年完成)は高さ50%、長さ66%の巨大なものです。設置の経緯を教えてください(国土交通省富士川砂防事務所は下流の雨畑ダム管理者の日本軽金属から当時設置要請があったか回答して下さい)	弊社は事あるごとに関係各所に対し、土砂流入防止のお願いをしている。砂防えん堤設置に際しても協力している。	砂防えん堤は国による直轄砂防事業で建設されたものだ。10年以上前の案件であり、山梨県では当時の経緯は分かりかねる。	雨畑川上流の稲又谷には、「八潮崩れ」という大きな崩壊地があり、不安定な土砂が多く存在している。富士川砂防事務所では、この崩壊地などからの土砂流出による下流人家への被害を防ぐため、「稲又第三えん堤」をはじめとする砂防えん堤を整備してきた。なお、日本軽金属からの設置要請はなかった。
雨畑ダムよりも上流の雨畑川の砂防について、十分に機能しているという認識はありますか。また、日本軽金属と山梨県はしゅんせつや砂防工事について、現在、国などに働きかけをしていますか(国土交通省富士川砂防事務所は雨畑ダム設置者の日本軽金属から具体的な働きかけがあるか教えてください。また仮にあるのならなぜ受け入れないのでしょうか)	1967年の雨畑ダム完成当初から想定を上回る堆砂が進行している。当初は100年で半分埋まる予定だったが、ダム完成後約10年で100年分の設計堆積量に達し、総貯水量の3分の1が埋まった。その後、砂利および土砂の搬出を開始したが、ダム完成後約50年で総貯水量の約9割が埋まった。この自然の猛威に関してはだれも想像がつかなかったものと考えている。砂防えん堤は急激な土砂の流入を抑制する効果があると認識していて、実施してもらっている。弊社に限らず各関係機関が対策を実施しているが、追い付かないのが現状だ。	砂防えん堤がない状態に比べ、洪水時の急激な土砂流出を抑制する効果は一定程度発揮されていると考えている。なお、砂防事業の実施について、地元から要望がある旨を国に対して伝えている。	雨畑川上流の砂防えん堤には、①河床勾配を緩和し水の流れを減速することで土砂を一時的に堆積させ下流への急激な流出を防ぐ②川の流速を遅くし川底が削られるのを防ぐ③山裾が削られることを防ぐなどの機能があり、崩壊地などからの土砂流出による下流人家への被害を防ぐ効果を発揮していると認識している。なお、日本軽金属からしゅんせつや砂防についての要請はない。